

3年 図工科学習指導略案

岸和田市立城東小学校

指導者 石郷岡 宏一郎

令和 8 年 9 月 30 日

第5時限 13:40~14:25

第 3 学 年 1 組 教 室

1. 単元名 「どんな花?わたしだけの花」(使用図書は、開隆堂図画工作 3・4 上p24-p25)

2. 単元のねらい

本単元では、「表したい花のイメージに合わせて色や画材を選択し、形や色の組み合わせを工夫して表現すること」を目標とする。本学級の児童は、作品のよさや表現の工夫を感じ取り、自分の表したいイメージとして言語化・具体化することが難しい。そこで、お手本分析用の【分析用 Y チャート】を活用して「色・形・材料」の視点からお手本の花の表現意図を分析し、技法や画材の特徴を整理する活動を行う。

その際、手引きや思考ツールから得た情報、実際に試した結果などを活用し、「自分ならどう表すか」を【計画用 Y チャート】に記述して表現意図(自分の考え)を形成・具体化していく。さらに、お試しや他者参照を経て考えが変わった際には赤字で追記・修正する(思考の変容の可視化)ことで、図工科の学びと情報活用能力(自己調整・メタ認知)の育成との両立を図りたい。

3. 単元の指導計画(全 5 時間)

時	学習活動
1	教科書のお手本から、描きたい花の絵を選び、どんな色や画材が必要かを思考ツールに整理する。
2, 3 (本時)	色や画材の情報をさらに収集・分析する。自分の思考ツールを参考に描き始める。
4	思考ツールや友達の工夫を参考に、作品を完成させる。
5	作品を鑑賞し合い、「すてきな花にするための工夫」を見つける。自分の進め方について振り返る。

4. 本時について

(1) 目標

お手本の工夫に気づき、自分の思いと結びつけて情報を集め、自分ならどう描くか(表現意図)を考えることができる。

(2) 判断基準

S(十分に満足できる)	A(満足できる)	B(努力を要する)
さらに、画材や技法の特徴に着目し、試行や他者参照を通して自分の計画を再構築し、表現意図をより豊かなものに深めている。	お手本の工夫に気づき、自分の思いと結びつけて情報を集め、自分ならどう描くか(表現意図)を考えている。	お手本の工夫に気づき、自分の思いと結びつけて情報を集めることができていない。 →【分析用 Y チャート】を再確認させたり、お試しコーナーで画材を直接触らせたりして、表したいイメージの構築を促す。

(3) 本時の情報活用能力のねらいについて

お手本の花の「色・形・材料」に注目して「整理分析」し、それらの情報を「自分ならどのように表したいか」という表現意図を持ちながら、自ら選択した方法で表現する力を育む。→「多面的にみる」

(4) 学習の手引き

学習課題:「わたしだけの花を描こう」

S: さらに、「色・形・画材」の特ちょうを生かした工夫(理由や考え)まで書くことができる

A: お手本から「色」「形」「材料」を見つけて、Y チャートに「自分ならどうするか」を書くことができる

課題の設定

「お手本の『色』『形』『材料』を見つけて、自分だけの花の計かくを立てよう」

情報収集

①色(どんな色?自分なら?)

②形(どんな形やかざり?自分なら?)

③材料(何を使っている?自分なら?)

整理分析

「お手本たんてい Y チャート」「自分さくせん Y チャート」に書く。(多面的にみる)

表現発信

「わたしだけの花を描こう」

(5) 学習過程

時	学習活動	主な発問(○)と 予想される児童の反応(●)
5 分	課題を掴む	○「お手本の『色』『形』『材料』を見つけて、自分だけの花の計かくを立てよう」
30 分	「色」「形」「材料」を分析し、自分ならどうするかを考える。 ①Y チャートで構想を深める ②お試しコーナーで画材や技法を試す ③実際に描き始める	色 ●同じような色が使われている ●あたたかい色が使われている ●この色を混ぜたらこんな感じになるんだ！ 形 ●ダイナミックに動いている ●音符を使っていて楽しそう ●○などの記号が使われていてふわふわした感じ 材料 ●色鉛筆が使われている ●クレパスと絵の具両方使っている 自分だったら ●青系の色でカッコよい雰囲気になろう ●ギザギザにして迫力を出したい ●墨のにじみを試したら炎みたいでカッコよかったから使おう。
10 分	ふりかえり 「①今日のやり方」 「②工夫したこと」 「③そのやり方はどうだったか(学び方のよさ)」	●①:「Y チャートで計画を立てて、お試しコーナーで墨の混色を試した。」 ●②:「墨のにじみ(画材)と青のつめたさ(色)を生かして静かでカッコいい花になろう。」 ●③:「頭で考えるだけでなく実際に試したり友達の工夫を見たりして、新しいアイデアが生まれた。」